

## 第6学年 教科「おおたの未来づくり」学習指導案

1 単元名 「みんなでめざそう 地域の笑顔と健康」【A ものづくり】(35時間)

2 単元目標

東邦大学医学部と連携し、食物繊維摂取量を増やした健康を増進する献立を考えることを通して、大田区の「人生100年を見据えた健康寿命延伸プロジェクト」等から収集した情報を理解し、目的に応じた食物繊維豊富なメニューの工夫について考えるとともに、学校給食や地域の人々に提供してもらうために自分たちが創り出した献立に興味・関心をもって校内や地域の人々に丁寧に説明をするなど、相手意識をもって主体的に関わろうとすることができるようにする。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
コンセプト	① 地域のどのような「Well-being」を目指して、どのような「取組」を創り出すかという構想が「地域の創生」のコンセプトであることを理解し、コンセプト設定に必要な知識・技能を身に付けている。	①必要な情報や情報収集の方法を考え、情報を整理・分析して必要なキーワードを導き出し、試行錯誤してコンセプトを設定している。	①様々な人との対話を大切にし、進んで情報を収集したり、アイデアを出し合ったりして協働的にコンセプト設定に取り組もうとしている。
デザイン	②コンセプトに基づき、地域の人々に受け入れられる取組を設計するために必要な知識及び技能を身に付けている。	②コンセプトに基づいて取組の内容や対象、方法等を考え、持続可能性、実現可能性、費用対効果、時間対効果」などの視点を踏まえて、食物繊維の豊富なメニューを考え、選択している。	②進んで情報を収集したり、アイデアを出し合ったりして、よりよいメニューにするために持ち味を生かして協働し、粘り強く取り組もうとしている。
クリエーション	③デザインしたものを具現化し、発信するために必要な知識及び技能を身に付けている。	③様々な人からの評価等を整理・分析し、試行錯誤して、メニューの資料作成や提案・実践の準備などを行い、相手意識に立って発信している。	③進んでアイデアを出し合い、持ち味を生かして協働しながら粘り強く取り組むとともに、様々な人からの評価等を受け止めて、取組を振り返り、価値や改善点を見いだそうとしている。
共通事項	④ICTを活用した情報収集・スライド作成・動画編集・調査・統計資料作成、プログラミングに関する知識及び技能を身に付けている。	④効率性や分かりやすさ、持続可能性等の視点をもってICTを効果的に活用している。	④モラルや他者意識をもってICTを活用しようとしている。 ⑤ICTを他者との協働や振り返り、取組の改善のために活用しようとしている。

4 単元について

(1) 単元設定の理由

本単元の学習を通して、今からできる自分自身の健康な食生活に目を向け、そこから地域の人々が健康で笑顔になることを想定したメニューづくりをすることで、地域のために自分たちができることを考えて行動できる児童を育成したいと願いを込めて、設定した。

(2) 授業パートナーの連携

大田区にある東邦大学医学部の方や本校の栄養士と連携し、健康的な食事の大切さを伝えていただく。東邦大学の方には、メールや電話を使って健康を増進するメニュー作りに必要な情報をいただいたり、児童の実態調査に参加していただいたりして、児童の食の傾向や課題を知らせてもらう。

(3) 学習過程

「コンセプト」では、東邦大学医学部の方から食事と健康の関わりや、大田区の食生活の課題（食塩摂取量や食物繊維の不足）について教えてもらい課題解決に向けてインターネットや本を活用して情報収集する。相手意識と目的意識をもって、収集した情報から「どのようにして食事から地域を笑顔にしていくか」とコンセプト設定することを重点的に指導する。東邦大学医学部の話を聞いて分かった課題や現状について考えたことを話し合う活動を通じて情報収集力や課題発見能力を養う。

「デザイン」では、個人で考えている食物繊維が多く含まれるメニューの提案を学級の友達に提案し、クラスの中で話し合い、給食で提供するメニューを選択する。選択する際に、何をもって選んだのか根拠を明確にするために観点を定めてお互いのメニューを見合うことで、情報を整理・分析する力を養う。

「クリエイション」では、全校児童や保護者の方にプレゼンテーションを行い、フィードバックを受ける活動を通して、取り組みを振り返り、よりよい地域にしていくための視点を改めて見出し、社会参画について考えることを重点的に指導する。提案内容の実現に向けた準備に、自分と他者のよさを生かして役割を分担しながら、主体的に関わり、協働する力を養う。

(4) 本単元で扱う教科等の内容及び本単元に充てる授業時数

教科等名	本単元で扱う内容	授業時数
国語	聞いて単元を深めよう (3) 文章を推敲しよう (1) 今、私は、ぼくは (5)	9
社会	縄文のむらから古墳の国へ (1) 貴族の暮らし (2) 世界の未来と日本の役 (1)	4
図工	きらめき劇場 (3)	3
家庭科	こんだてを工夫して (3)	3
保健	病気の予防 (1)	1
総合	みんなでめざそう地域の笑顔と健康 (1 5)	1 5

5 児童の実態

本学年の児童は、何事にも意欲的に取り組む児童が多く、どの教科においても教師主導で自己やクラスの課題を明確に伝えることで学習方法や改善方法を自分で選び、主体的に取り組むことができる。その一方で、児童が自ら課題を見出す姿勢や、情報を整理・分析して大事なキーワードを捉える力、取捨選択する際に自分の考え、根拠をもって選ぶ力には課題が見られる。

本単元の学習をするに当たって、事前に保健の学習で健康によくない生活の積み重ねによって生活習

慣病を引き起こすことを理解したり、家庭科の学習では栄養バランスのとれた食事の大切さについて学び、家族や地域の人々と協力し、よりよい家庭生活に向けて考えたりする活動をした。日々の授業において、「この学習で何を学んだか、成長したか、自分の課題は何か」などの視点を提示し、自己の学習の振り返りをする。また、レーダーチャートを活用して視覚的に分かりやすく食物繊維の豊富なメニューの評価を行うことで、児童がメニューを選ぶ際に根拠を明確にする。

本単元では、児童がゴールイメージをもちながら、そのゴールのためにはどのような活動が必要なのか、グループで話し合いながら自己、グループの課題を解決し、計画を立て活動をすすめる力を育成したい。また、情報を整理したり、分析したりして作成した食物繊維が多く含まれたメニューを効果的に地域に伝える活動を通して、相手意識をもって分かりやすく伝える工夫をしたり、主体的に関わろうとしたりしながら最後まで活動を粘り強くやり遂げられるような児童を育てたい。

## 6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

食事と健康の関わりについて理解し、食物繊維摂取量を増やした健康を増進するメニューを考えることを通して、問題の発見・解決のために情報を整理・分析する能力、根拠をもって自分の考えを表現する能力を身に付けることができるようにする。

## 7 指導の手だて

### (1) 授業パートナーとの出会い

目指す児童像より「地域を笑顔にするために考えて行動する」に迫るために、第0時として東邦大学の方による講演をもとに笑顔の原点には健康があることを考える時間を設定した。健康な体の源は食生活にあると考えをもち、社会科の歴史学習や家庭科の献立を立てる学習を通して、体によい食事メニューの選び方について関心をもつようにした。

### (2) ゴールイメージの共有

学習のゴールを毎時間「学びの地図」として提示することで、相手意識や目的意識を確認しながら学習に取り組めるようにする。また、学びの地図を活用することで、今の学習進度の現在地を確認し、ゴールまでにどんな活動が理解することで、児童が見通しをもって活動できるようにする。

### (3) 思考ツールの活用

グループに分かれておいしい食物繊維の豊富なメニューを選択するために、座標軸やクラゲチャートなどの思考ツールを用いてコンセプトをもとに整理する。味付けの工夫や彩りの工夫などについてグループの考えをまとめたり分析したりする。試行錯誤を通して資料作成や発表の準備を行い、相手意識をもって発信できるようにする。

### (4) 「探究」する振り返りの視点

ワークシートを活用し、努力した点、工夫した点、次回に生かしたい点を明確にし、児童自身が課題解決に向かい試行錯誤を繰り返した学びの足跡を記録することで、新たな問題発見、解決に繋げていく。

### (5) ICT 機器の活用（レーダーチャート）

メニューを「比べる」時の話し合いの際、何をもってそのメニューを児童が選択したか根拠とな

るレーダーチャートを活用し、相互評価をしていく。選ぶ観点を「作りやすさ（手間）」「見た目（色どり）」「栄養バランス」「食物繊維の量」「独自性（オリジナルな工夫、組み合わせ）」の5つに絞り、児童が根拠をもってメニューを選択できるようにする。

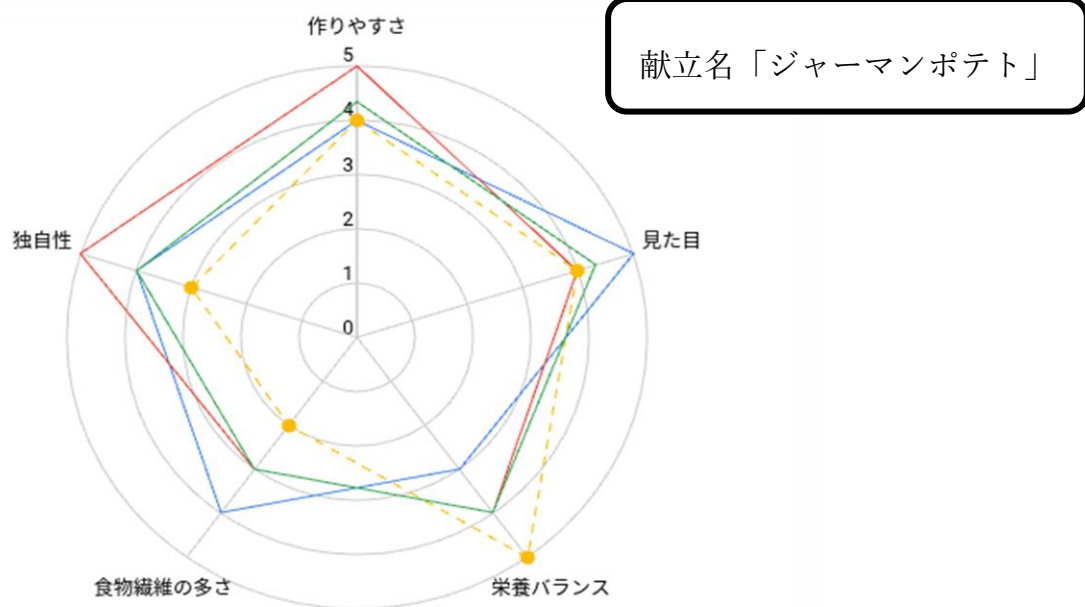
## 8 指導計画（全35時間）

学習過程	時	○主な学習活動 ★指導の手だて ・予想される児童の反応	◆評価【観点】（方法）
ガイダンス	1 国語1	○おおたの未来づくりの年間計画を知る。 ・ウェルビーングな矢口地域を作りたい。 ・地域の人を笑顔にしたい。 ★ゴールは「矢口地域を笑顔にすること」を児童間で共通確認させる。	
コンセプト	2～6 (5h) 総合4 保健1	<u>プロの話聞いてみよう。</u> ○健康な食生活について知る。 ・健康な食生活をするためには、食物繊維が大切だな。 ・食物繊維をたくさんとりたい。 ○聞いて考えを深める。 ・食物繊維がたくさん含まれた食べ物には、どんなものがあるかな。 ・毎日食物繊維を取り入れるためには、どうしたらいいのだろう。 ○東邦大学の食習慣質問票（最近1か月間の食習慣）のアンケートを回答する。 ★健康と食生活が密接に関わっていることや大田区の食生活の課題など、東邦大学医学部の方の発表を聞いて理解させる。	◆【主①】 (発言・行動観察)  ◆【知①・思①】 (発言・行動観察)
デザイン	7～10 (4h) 総合2 国語2	<u>食物繊維が多く含まれたメニューのよさを確認しよう。</u> ○夏休みの宿題として考えてきた食物繊維が多く含まれたメニューのよさを確認する。 ・私のメニューは、この食材とこの食材に食物繊維が豊富に含まれているよ。 ・材料は、これとこれだから、誰でも簡単に作れるよ。 ★お互いにメニューのよさを見つけたことを伝え合う活動を通して、メニュー作りに必要な視点を子どもたちから引き出す。	◆【思②・主②】 (発言・行動観察)
	11 (1h) 総合1 本時	<u>メニューを紹介し、グループ代表メニューを決めよう。</u> ○友達が考えたメニューを聞いて、グループごとにイチオシのメニューを決める。 ・見た目もよく、食物繊維も多く含まれているからこのメニューがいいな。 ・友達のメニュー、私も作ってみたいな。 ★視覚的に分かりやすく評価するために、レーダーチャートを活用する。 ★なぜその評価にしたのか、自分がつけたレーダーチャートの評価に沿って理由を述べられるように促す。	◆【思②・主②】 (ワークシート・行動観察・話し合い活動)

	1 2 (1 h) 総合1	<p><b>グループ代表メニューを紹介してクラス代表メニューを決めよう。</b></p> <p>○グループごとに決めたメニューを紹介し合い、給食で提供するクラス代表メニューを決める。</p> <p><b>※候補として複数でもよいことにする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このメニューは、見た目もよく食物繊維もたくさん含まれているね。</li> <li>・700人分作ることも考えると・・・</li> </ul> <p>★視覚的に分かりやすく評価するために、レーダーチャートを活用することで根拠を明確にして決められるようにする。</p>	◆【思②・主②】 (ワークシート・行動観察・発言)
	1 3～1 6 (4 h) 家庭科3 総合1	<p><b>クラス代表のメニューを作ってみよう。</b></p> <p>○クラス代表のメニューを実際に調理実習で作ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士の先生に作り方を聞きたいな。</li> <li>・実際に作って見たら、見た目も味もいいな。</li> <li>・他の人にも食べてほしいな。</li> </ul> <p>★実際に作る際、作りやすさや色合いなど相手意識をもって作ることができたか振り返らせる。</p>	◆【知②】 (ワークシート・行動観察・発言)
クリエーション	1 7～2 2 (6 h) 総合4 国語2	<p><b>クラス代表メニューの紹介動画を作成しよう。</b></p> <p>○クラス代表メニューを給食で提供するために、全校児童に向けた、クラス代表メニューの紹介動画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年でも分かりやすい内容にしよう。</li> <li>・作り方だけでなく、味の感想も伝えたいな。</li> <li>・栄養士の先生にもっと具体的に代表メニューの簡単な作り方について聞いてみたいな。</li> </ul> <p>★動画を通して「何を伝えたいのか」を明確にして紹介動画を作成させる。</p>	◆【知③④・思③・主④】 (作成した動画・行動観察・ワークシート)
	2 3 (1 h) 社会1	<p><b>全校児童に向けて動画を紹介しよう。</b></p> <p>○クラス代表の食物繊維が多く含まれたメニューの紹介動画を全学級に視聴してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体によい食事について、伝えたいことは伝わったかな。</li> <li>・早く食べてもらって感想を聞きたいな。</li> </ul> <p>★実際に給食で食べてもらう前に、どんなメニューを考えたのかを紹介し、全校児童が体によい献立について考えて食べてもらうようにする。</p>	◆【思④】 (行動観察)
	2 4～2 8 (5 h) 社会1 図工3 総合1	<p><b>給食で提供したメニューの、感想や意見を聞こう。</b></p> <p>○実際に食べてもらった味の感想や意見を Google フォームで集約する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見た目もよくて、味も美味しかった」と言ってもらえた。</li> <li>・どうやって作るのか質問されたよ。</li> </ul> <p>★次時の活動に生かせるように、他学年の感想をどのようにとったらよいのか児童と考え、よかった点や改善点をレーダーチャートで整理・分析する。</p>	◆【主③⑤】 (行動観察・ワークシート)

29～35 (7h) 総合1 社会2 国語4	<p>全校児童や保護者・地域の人に向けて、メニューを紹介しよう。</p> <p>○幅広い年齢の方々に伝わる動画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年でもわかりやすい内容にしよう。</li> <li>・作り方だけでなく、味の感想も伝えたいな。</li> </ul> <p>○3学期保護者会でメニュー紹介動画やレシピ特集の紹介をする。</p> <p>○これからの生活に目を向ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今できることを続けたいな。</li> <li>・この体によいメニューを通して地域が笑顔になったらいいな。</li> </ul> <p>★保護者や全校児童からの感想をGoogleフォームにて集計し、今後の活動に繋がられるようにする。</p>	<p>◆【知④】 (動画)</p> <p>◆【思③④・主③⑤】 (ワークシート・行動観察)</p>
------------------------------------	---	---

～レーダーチャートの観点例～



## 9 社会で活躍する人との連携

企業名	依頼内容	資質・能力の育成に期待できる効果
東邦大学医学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題提起の講話</li> <li>・児童の食習慣質問票による食事調査</li> <li>・食物繊維が多く含まれている献立へのアドバイス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や自分自身の実態を知ること、実感をもって問題意識をもつことができる。</li> </ul>

## 10 本時の学習 (全35時間中の11時間目)

### (1) 本時の目標

- ・相手意識や目的意識をもって、食物繊維が多く含まれたメニューをグループで選択することができる。

### (2) 展開

○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】(方法)
---------------------	---------------

		★指導の手だて
導入 7分	○前時までの学習を振り返る。 ・調理実習で食物繊維が含まれている主菜を作ったけど、クラスではどんなメニューを地域の人に提案しようか。 ・自分が作ったメニューのおすすめポイントを整理したね。	★この単元のゴールを確認し、今の学習の現在地を示すことで、見通しをもたせる。 ★食事と健康の課題（食物繊維の不足）を確認する。
	〈めあて〉メニューを紹介し、食物繊維が多く含まれたグループ代表メニューを決めよう。	
展開 30分	○個人で考えてきたメニューをグループで紹介し合い、よいところについて付箋を用いて話し合う。 ・オリジナルな工夫があると、「作ってみたい」「食べてみたい」と思いそうだね。 ・見た目もおいしそうだし、食物繊維がたくさん入っているね。 ○5つの観点に沿ってグループの代表メニューを決める。(作りやすさ、見た目、栄養バランス、食物繊維の多さ、独自性) ・レーダーチャートを見て、全体的に評価のバランスが良いメニューを選ぼう。 ・食物繊維が多く、そしてオリジナルなメニューだと地域の人も「作ってみたい」と思うからその観点で選ぼう。	★自分が工夫したところや、おすすめポイントを詳しく伝えられるように児童が事前に作成したメモを基に発表する。 ★メニューを選ぶ観点を黒板に掲示し、視覚的に分かりやすくする。  ★レーダーチャートを活用することで、他者からの評価を客観的に確認し、グループの代表を決める際に根拠を明確にしてメニューを決定する。 ★観点を明確に提示することで、メニューを選ぶ際、そのメニューの良さや選んだ根拠を具体的に説明できるようにする。 ◆【思】(②) (ワークシート・話し合い活動の観察)
まとめ 8分	○それぞれの良さを共有し、努力をねぎらい、賞賛し合う。 ○めあてを達成するために努力したことや工夫した点、次回に生かしていきたいことを振り返る。	◆【主】(②) (ワークシート・発表) ★グループでの話し合いやメニューの決定など、相手意識をもち、根拠に基づいて考えることができたか確認する。

### (3) 本時の視点

- ・付箋を利用した話し合いは、自己評価や他者評価に有効な手だてか。
- ・レーダーチャートは児童が根拠をもってメニューを選択するために有効な手だてか。
- ・単元計画や本時の授業が、研究主題「地域を知り、地域を愛し、地域に貢献する児童の育成」に沿って計画できているか。

#### 1.1 授業者自評・協議

今年度は東邦大学と連携し、「食物繊維が多いメニューを考えてほしい」という依頼のもと、児童一人ひとりがメニューを考え、各クラス26個あるメニューをどう選択していくかをメインに授業を考えた。その中で、根拠をもって選択、評価できるようにレーダーチャートを利用して説明できるようにした。その後は、班単位からクラス単位の話合いになるため、今回できた話し合いの基盤を活かしてクラス代表メニューを決定していこうと考えている。

#### ◆ 1組担任より

1組は話し合いがそれやすい傾向がある。話し合いの観点を一つにしぼることで、話題がひろがったままになってしまうことなく、話し合いを進めることができた。また、レーダーチャートを使うことも有効だった。

#### ◆ 2組担任より

この授業を始めた時から前のめりであり、「楽しみ」「早く決めたい」と、本時も意欲的に取り組んでいた。単元のゴールである「食事から矢口地域を笑顔にする」から、本時の流れを決めたが、違うアプローチもあったのではないかと、意見を聞きたい。

#### ◆ 3組担任より

意見を言う児童もいるが、言いづらい児童もいる。担任がファシリテーターとして関わる、個別のフォローをしてきた。目的がずれないように指導することができた。

### 1.2 指導・講評

#### 【良い点】

- ・夏休みに献立を児童に作らせたのはとてもよかった。
- ・レーダーチャートの5観点を自分たちで決めたのがよかった。
- ・相手が「地域」のように対象が広いことでのよさもある。
- ・ICTの活用によって話し合いは活発に行えていた。

#### 【改善点】

- ・導入では、担任が話し過ぎず、児童が言えるような導入を心掛けていく。
- ・メニューをレーダーチャートで評価され、事実を確認する/されることは6年につらいのではないかと。レーダーチャートは自分とは少し離れたものの分析に使うのがいいと思う。
- ・付箋やレーダーチャートを使わなくてもフランクに話して選ぶ形でもいいのではないかと。→「使いたかったらレーダーチャートを使う」「何分後には1つのレシピを選んでね」などの活動ができると思った。児童の実態的に付箋をなくして対話ができる、を目指していい段階にある。
- ・メニューを1つに選ぶには大人の事情があることを児童に伝えるのをもう少し丁寧にやってもいいのではないかと。
- ・メニューを選ぶ際に何に重点を置くかについては、「どうしてこのレシピを選んだか、5観点をもとにプレゼンして」と指導していく。どうやって決めるかについては、「これ1をつにするにはどうすればいいか」「誰に聞けばふさわしい情報を得られるか」「決める中で大切なことってなんだろうね」と児童に問い返し、決め方を決める指導をしていくとよい。
- ・相手意識について、「健康意識の啓発」なのか、「メニューの普及」なのかをはっきりさせる。
- ・グループ活動では、決めきれない班もあったが「どうして決めきれなかった？」と聞くとよい。問題解決を児童も巻き込んで行っていく。
- ・児童全員が考えたメニューの努力を無下にしたくない。何かの形で活かしてあげたい。

#### ◆ おおた未来づくりについて

- ・おおたの未来づくりで一番おもしろいと思っているのは「実社会」にふれられるところ。

- 調理師さん、栄養士さん、地域の人…
- 児童にとって何が楽しいか、わくわくするか、をたくさん考える。
- ・やらされた感を少なくするために、探求課題の選択や内容の選択を大切にしていく。
- ・しぼりがあるものについては「仕掛け」が必要。  
(児童がやる気がでるような動機付け、単元との出会い)
- ・単元のゴールや卒業の姿、どうなってほしいのか、振り返りに何を書いてほしいのかを考えて指導していく。
- ・パートナーはどこまで求めているのかを確認する。  
→考えて提案したり、全校児童にプレゼンしたり、調理してみたりして地域に発信をしていくことが大切である。